

第6次越谷市行政改革大綱（案）の概要等

平成27年10月

越谷市における行政改革の推移

第1次行政改革

- ▶取組期間 : 昭和60年度～62年度
- ▶実質効果額 : 約7億2,000万円

第2次行政改革

- ▶取組期間 : 平成7年度～11年度
- ▶実質効果額 : 約11億1,000万円

第3次行政改革

- ▶取組期間 : 平成12年度～17年度
- ▶実質効果額 : 約27億円

第4次行政改革

- ▶取組期間 : 平成17年度～22年度
- ▶実質効果額 : 約36億8,200万円

第5次行政改革

- ▶取組期間 : 平成23年度～27年度
- ▶実質効果額 : 約25億2,100万円
(※H26年度分まで)

第6次行政改革

- ▶取組期間 : 平成28年度～32年度

第6次行政改革大綱 【基本事項】

目的

拡大・多様化する行政課題に迅速かつ的確に対応。
中核市・越谷として市民福祉の一層の推進を図る。

基本方針

(1) 無駄のない、メリハリの効いた自治体経営

(2) 内外資源のフル活用

(3) 健全財政の維持

計画期間

平成28年度～平成32年度(2016～2020)の5年間

主要推進事項

1 事務事業の徹底改革

2 組織力の強化

3 市民満足度の高い行政サービスの推進

4 健全財政の堅持

1 事務事業の徹底改革

【具体的推進事項】

① 事務事業の改革と連携の試み

行政運営の視点は多面的・複眼的に捉えることが肝要。
他の部署との協力・連携によってコスト削減と市民福祉の両立を図る。

② 環境負荷の軽減化

低炭素社会の実現と低環境負荷社会への取組を進める。

③ 民間力の積極的活用

民間がもっている資金、人材、モノ、知恵、情報、ネットワーク等の有効資源を積極的に活用する。

④ 公営事業会計の財政健全化

公営事業会計への一般会計繰出金を減らせるよう会計の改善を図る。

⑤ 外郭団体の経営健全化

市が一定の関与を果たしながら団体の主体的な健全経営を促す。

2

組織力の強化

【具体的推進事項】

① 適正な定員管理等

職員の適正な給与水準の維持等の取組を推進し、市民満足度の高い行政サービスの提供に努める。

② 職員の能力開発と人材確保

効果的な職員研修を推進し、多様な人材を確保して業務の効率化を図る。

③ 市民満足度の高い行政サービスの推進

【具体的推進事項】

① 各種手続等の簡略化

各種手続きの簡略化を推進し、分かりやすい説明を心がける。

② 情報化等の推進

情報通信技術の進歩に対応できる体制を整える。

③ わかりやすい情報の発信

わかりやすい情報の積極的な発信を推進する。

4 健全財政の堅持

【具体的推進事項】

① 経費の縮減

経費節減を常に意識し、一層の工夫で最大の結果を出す。

② 補助金等の整理

補助金の支出は惰性的になることなく、適正な執行を確保する。

③ 公共施設等（インフラ含む）の適正管理と徹底活用

公共施設等の長寿命化、耐震化、総量縮減、機能強化等に努める。

④ 財源の徹底確保と新たな財源獲得の推進

市税等の収納率の向上と使用料等の適正化に努め、公共財産の利活用を進める。

第6次行政改革大綱策定・推進体制

